

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E 国谷隆志 展

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E Kunitani Takashi Exhibition

2013年11月15日[金] — 12月01日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・金曜のみ20:00まで



【広報画像01_2012年のパルクでの展示風景】

Mirror Site (14497)

2012 ステンレススティール、パネル 133×109×7.5cm

photo: 草木貴照

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年11月15日[金]から12月01日[日]まで、「35°0' 31.7"N 135°45' 58.74"E 国谷隆志展」を開催いたします。京都を拠点に活動を続ける国谷隆志(くにたに・たかし / 京都・1974~)は、これまでおもにオブジェや彫刻を中心としたインスタレーションにより、作品の在る空間の性質を顕在化させるサイト・スペシフィックな作品展開を続けており、とりわけネオンを用いた一連の作品は、作品と鑑賞者を取り巻く空間を変容させるとともに、そこに内包される鑑賞者の身体感覚により強く働きかける試みとしてこれまでに多くの注目を集めています。

2011年の個展「Mars」、2012年の個展「make a mistake in choosing」に続き、PARCでは3回目の個展となる本展は、そのタイトルを Gallery PARCの座標である「35°0' 31.7"N 135°45' 58.74"E」としています。

『人間の空間への関わりにおいて、自分を取り巻く世界、物事についてのあり方を問うこと、さらに人はそれらとどのように向き合うのか』に関心を寄せている国谷は、これまでの一連の個展で展示空間(ギャラリー)において、鑑賞者に「身体(肉体)」と「その位置」への自覚を促すことに主眼を置いて展開させてきました。国谷作品を前に鑑賞者は、そこに「身体(私)が、今、ここ(空間)にある」ことへの自覚を促され、「自身」と「世界」を「構造と対象」として主体的に捉えなおすことで、世界への再認識を迫られるのではないのでしょうか。

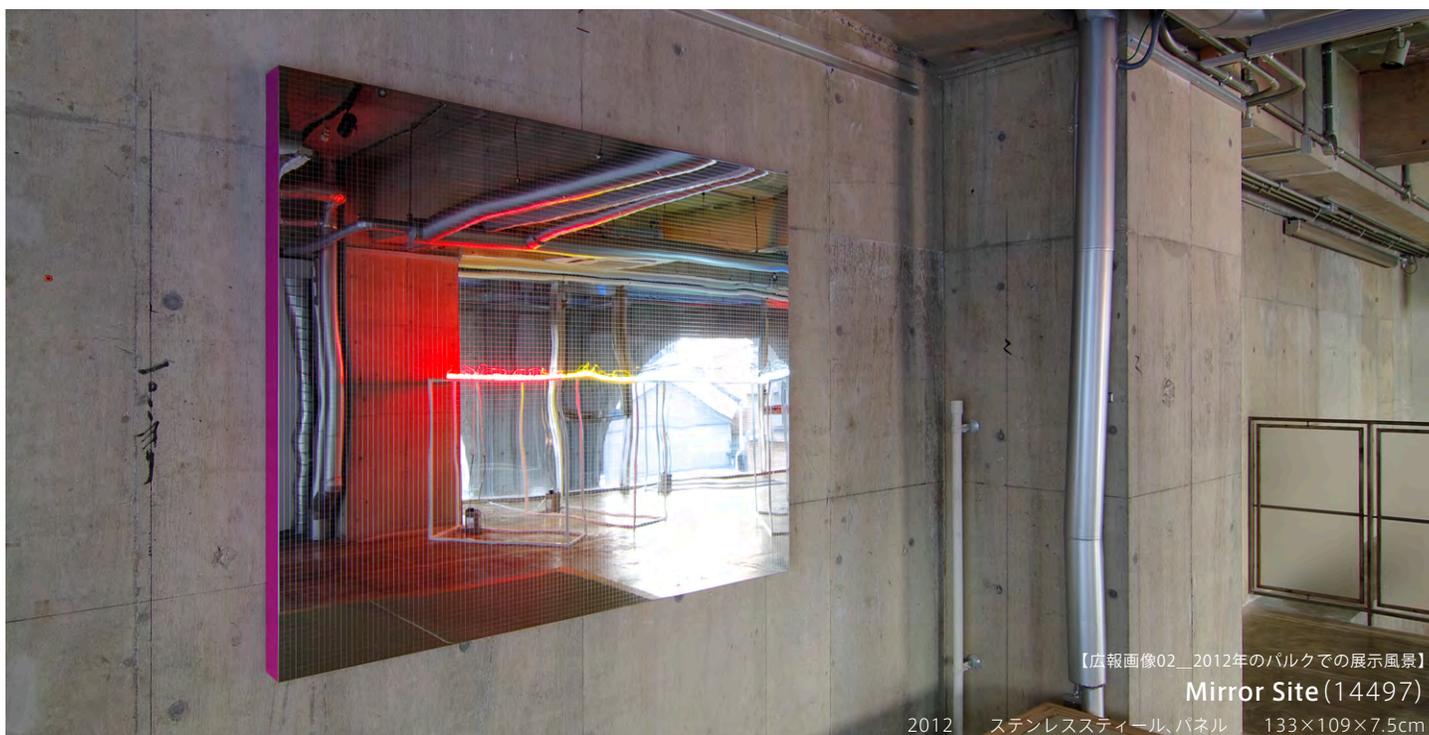
本展ではこれまでのネオンによる作品の構成から離れた異なるアプローチにより、「作品・空間・身体(=オブジェクト・世界・鑑賞者)」のそれぞれを顕在化(対象化)させることにより、世界を認識・解体・再構築する一瞬の体験を提示します。

タイトルである「35°0' 31.7"N 135°45' 58.74"E」は、会場となるギャラリーを「座標」に置き換えたものであり、これまで国谷が提示してきた「認識」の範囲を、空間内からさらにマクロ的視点に広げようとする意志が込められています。また、国谷は本展会期中にあたる10月29日[火]から12月1日[日]まで、成安造形大学(滋賀)で個展「35°6' 29.15"N 135°54' 9.63"E」を開催しており、この二つの展示は一部が連動した内容となっています。

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E 国谷隆志 展

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E Kunitani Takashi Exhibition

2013年11月15日[金] — 12月01日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・金曜のみ20:00まで



【広報画像02_2012年のパルクでの展示風景】

Mirror Site(14497)

2012 ステンレススティール、パネル 133×109×7.5cm

photo: 草木貴照

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、info@galleryparc.com 迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E 国谷隆志展

出品作家 国谷隆志(くにたに・たかし) 作家HP[<http://takashikunitani.com>]

会期 2013年11月15日(金) — 12月01日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊・金曜のみ20:00まで開廊

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【インスタレーション】

2012年の「Nuit Blanche Kyoto 2012 two passage」(京都芸術センター / 京都)、2013年のPavilion 0(Signum Foundation Palazzo Dona / ヴェネツィア)など、京都を拠点に内外で積極的に活動を続ける美術家・国谷隆志の個展。これまでのネオン管による展示構成から一転し、本展ではステンレススティールの鏡面にグリッドを刻むことで、写り込む世界を「対象」として提示し、鑑賞者と世界を改めて対峙させる《Mirror Site》を中心に、鑑賞者が参加することで作品への認識が変化する作品も合わせて展示し、作品(=空間)に対する知覚と認識を問いかける作品展開を試みる。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

関連情報 ■「35°6'29.15"N 135°54'9.63"E 国谷隆志展」

【会期】2013年10月29日(火)~12月01日(日) 12:00~18:00

【会場】成安造形大学【キャンパスが美術館】(滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1)

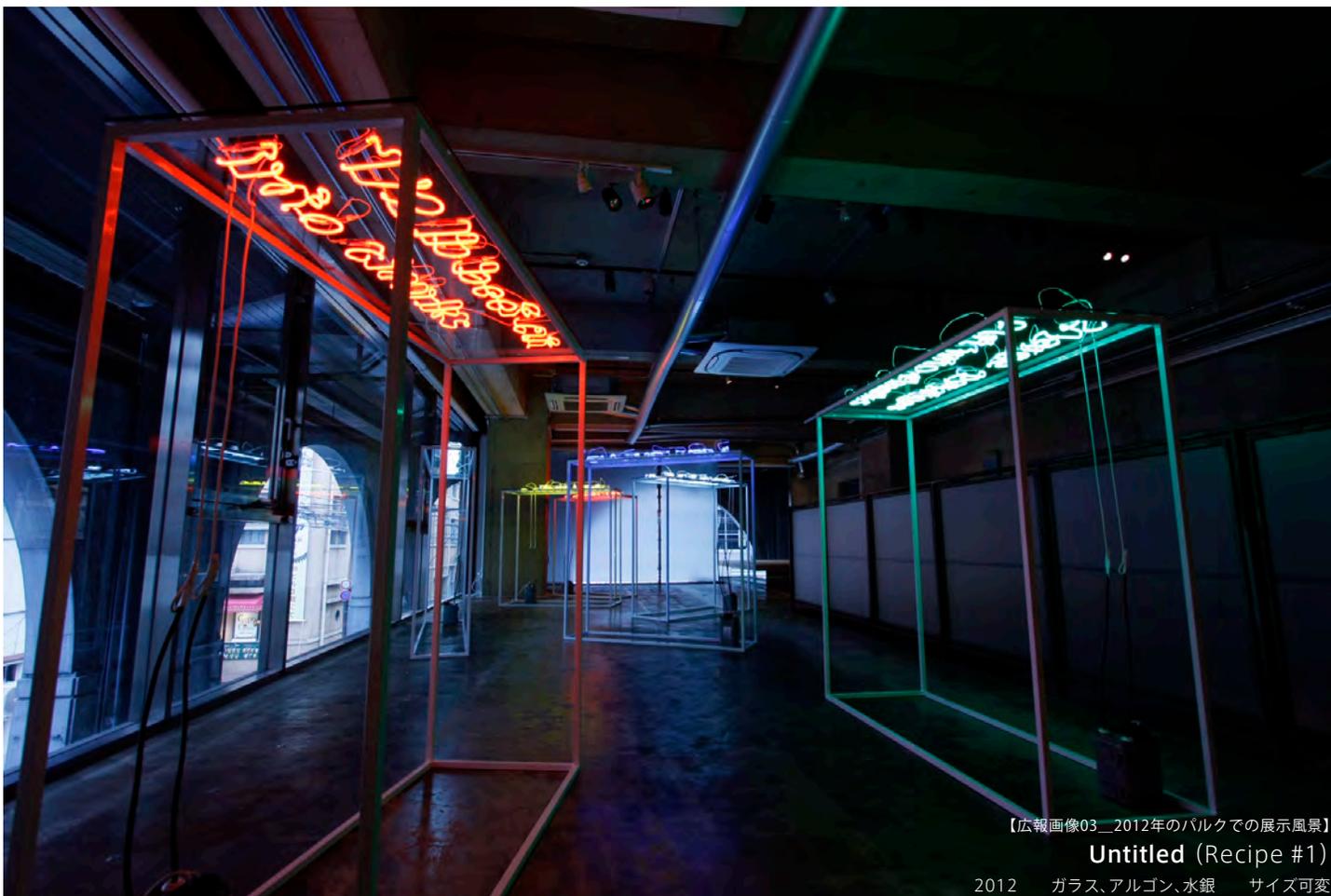
【料金】無料

【HP】<http://www.seian.ac.jp/gallery/>

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E 国谷隆志 展

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E Kunitani Takashi Exhibition

2013年11月15日[金] — 12月01日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・金曜のみ20:00まで



【広報画像03—2012年のパルクでの展示風景】

Untitled (Recipe #1)

2012 ガラス、アルゴン、水銀 サイズ可変

photo: 草木貴照

国谷 隆志 KUNITANI Takashi

【statement】

「空間」の存在を考える上で「身体」を抜きにすることは難しいだろう。それは、私たち人間の身体が常に空間の中に置かれているのと同時に空間を自らのものとすることによって環境を捉えているためだ。作品が身体に感覚に働き掛けるとき私たちは思考によってそれを把握し、統合する。

作品は単なる物質として捉えられるのみではなく、場として身体の一部となる。それは論理や認識のレベルではなく、内面的な領域へと思考を拡大していくことである。

私は、私の作品が観客の意識の中で新たな意味や世界観を創り出す装置のような機能をはたすことができればよいと考えている。

観客が作品によって示される空間に立ったとき、身体を通じて観客自身の意識の中に起こる出来事は主体的であるために客観性に欠け、あまりに不確かなものかもしれない。しかし、このような場の感覚によって、「身体が、今、ここにある」ということを強く自覚する事ができると私は考えている。

私は、人間の空間への関わりにおいて、自分を取り巻く世界、物事についてのあり方を問うこと、さらに人はそれらとどのように向き合うのか、といったことに関心がある。

人が占めている位置、身体、空間、時間、物の配置による人の視点や移動。これらは身体を起点とした観客自身の位置であり、場の感覚によって示されるものは、自らの存在を示すことに繋がる。作品の意味は観客の体験によって成立し、観客の参加そのものによって完成する。

あなたの存在と私の存在によって作品を完成へと導くことを、あなたの存在と私の存在の証明とする。

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E

国谷隆志 展

35°0' 31.7" N 135°45' 58.74" E Kunitani Takashi Exhibition

2013年11月15日[金] — 12月01日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・金曜のみ20:00まで

【C.V.】

Kunitani Takashi

1974 京都府生まれ

1997 成安造形大学 立体造形クラス卒業

個展

2012 Make a mistake in choosing (Gallery PARC/京都)
two passages (京都芸術センター/ニュー・ブランシュKYOTO 2012)

2011 MARS (Gallery PARC/京都)

2008 Untitled Series (Contemporary And Spirits CAS/大阪)

2007 The Vertical Horizon (大阪府立現代美術センター/大阪)

2005 国谷隆志展 (Contemporary And Spirits CAS/大阪)

2005 "a piece of work : KUNITANI Takashi Exhibition" (APS /東京)

2004 "Between Ground And Sky" (YAEMON /京都)

"What you have known for some time" (ギャラリーココ/京都)

2003 "YOUR PRIVATE SURROUNDINGS" (YAEMON /京都)

"クリテリウム54" (水戸芸術館/茨城)

"Sparkle" (ギャラリーココ/京都)

2002 "Nothing Like Object" (ギャラリーそわか/京都)

"Complete your space" (ギャラリーSEN/大阪)

2001 "Complete your space" (ギャラリーココ/京都)

グループ展

2013 Pavilion 0 (Signum Foundation Palazzo Dona/ヴェネツィア)

2012 アブストラと12人の芸術家 (大同倉庫/京都)

2011 モトコーART train (神戸元町高架下通商店街/神戸)

2010 NEW WORKS「接続熱源」(ギャラリーほそかわ/大阪)

2009 MASSIVE PROGRESSION (ギャラリーアーティスロン/京都)

2008 LOCUS (神戸アートビレッジセンター/神戸)

Art Court Frontier 2008 #6 (アートコートギャラリー/大阪)

第11回 岡本太郎現代芸術賞 (岡本太郎美術館/川崎市)

2007 Curator's Eye 2007 (ギャラリーマロニエ/京都)

2006 Look-in vol. 1 (CUBIC GALLERY/大阪)

2005 OMOTE-NASHI (YAEMON/京都)

City_net Asia 2005 (ソウル市美術館/韓国)

2004 Premonition -S- (ギャラリーそわか/京都)

2003 TAMA VIVANT 2003 (多摩美術大学/東京)

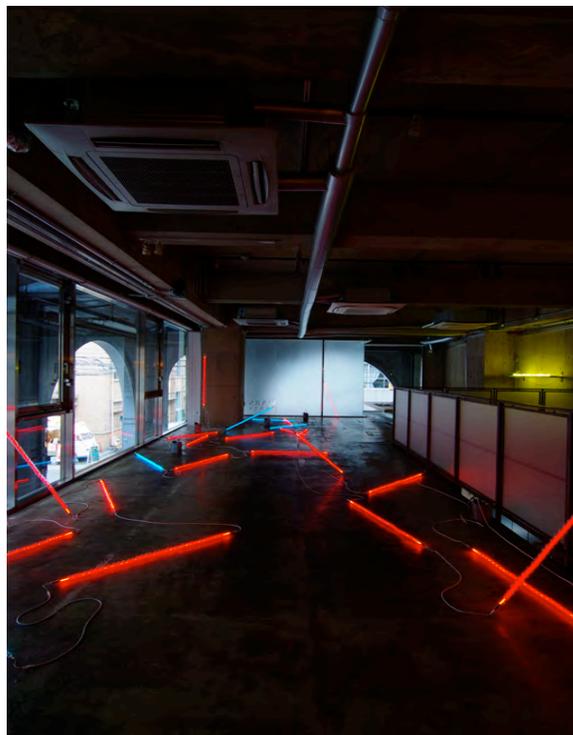
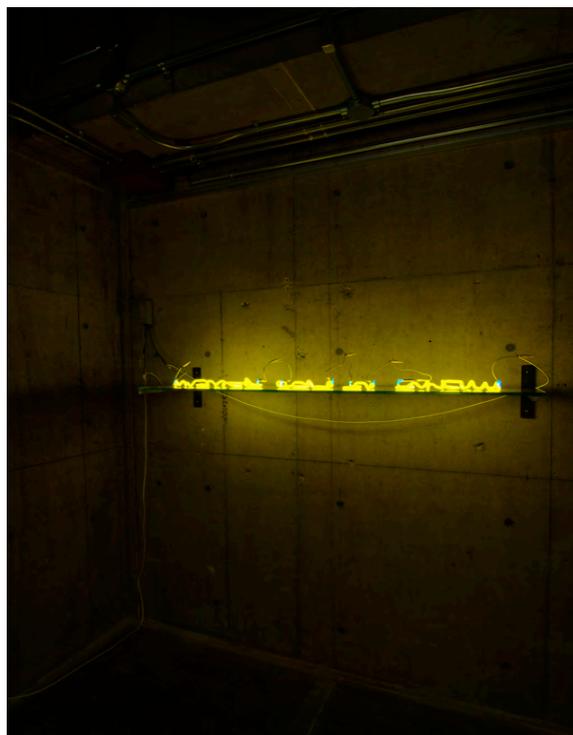
NEW GENERATION 3 (海岸道ギャラリーCASO/大阪)

2002 NEW TOWN ART TOWN (山陽団地/岡山)

2001 京都府美術工芸新鋭選抜展 ~2001新しい波~
(京都文化博物館/京都)

コレクション:竹中工務店東京本店

<http://takashikunitani.com/>



上【画像04】

Untitled (Yellow) 2012 ガラス、アルゴン、水銀
photo: 草木貴照

下【画像05】

Spaceless Space 2011 2011 ガラス、アルゴン、水銀
photo: 草木貴照